

NEWS RELEASE

Crypto Garage、岩手県紫波町のweb3 技術を活用した「ファン向けデジタル会員権」導入に向けた実証実験を支援

株式会社デジタルガレージ（東証プライム 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：DG）の子会社で、フィンテック分野におけるブロックチェーン金融サービス事業を展開する株式会社 Crypto Garage（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：大熊 将人、以下：Crypto Garage）は、株式会社ファンベースカンパニー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：津田 匡保、以下：ファンベースカンパニー）が2023年10月に岩手県紫波町と実施した、紫波町ファンコミュニティとの共創と、新たな財源確保を目的とした「ファン向けデジタル会員権」の実証及び体験会を、技術的な側面から支援しました。

■ 「ファン向けデジタル会員権」実証実験の実施背景

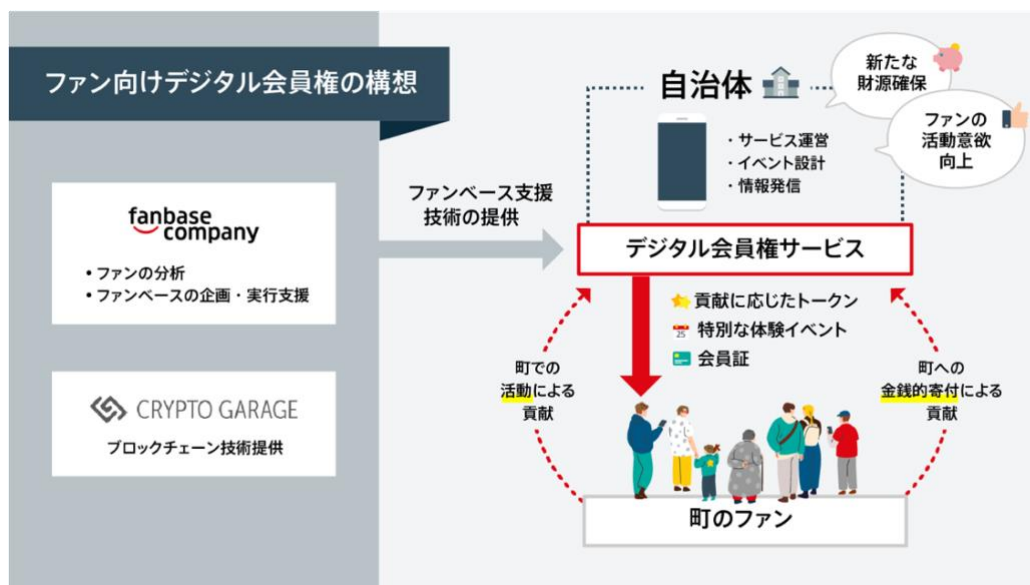
～地域の価値向上に向けたファンとの共創・新たな財源の創出を目指して～

紫波町では、2020年度より「ファンベース」の考え方を導入し、紫波町ファンの声をまろくに反映するための仕組み構築に取り組んでいます。2022年度の紫波町のファンミーティングで寄せられた町民の方々の声を反映し、「東根山の日」（2023年度）の制定や、地域イベント「AZUMANE WEEK」を企画するなど、ファンとの共創活動を行ってきました。

今回、このような共創活動の加速を目的として、フィンテック分野におけるブロックチェーン金融サービス事業とブロックチェーン領域における技術開発サービス事業を展開する Crypto Garage は、ファンコミュニティ設計・運営支援を行うファンベースカンパニーと共に、紫波町ファンの皆さまの熱量をさらに高めるための「ファン向けデジタル会員権」を企画しました。両社は、ファンベースカンパニーが実施したファン分析を基にデジタル会員権および会員権特典を設計するなど、ファンが継続して参加したくなる仕組みを通じて、紫波町のさらなる価値向上を目指しました。



デジタル会員権



(ファンベースカンパニー作成)

NEWS RELEASE

■「ファン向けデジタル会員権」実証実験（会員権体験会）の概要

実施期間：2023年10月29日（日）

実施目的：会員権特典の体験リターンおよび会員向けトークン付与に対する満足度の検証

実施内容：会員体験イベントの開催、ブロックチェーン技術を活用したトークン発行等の検証

会員体験イベントの内容：紫波町産の米を生かした商品づくり体験、東根山の森林ツアー体験など

これまでのファン分析結果に基づき、特典設計や体験イベントの企画・運営支援等をファンベースカンパニーが担い、本プロジェクトを推進し、本施策を支える仕組みとして、ブロックチェーン上の秘密鍵の管理を実施するキーマネジメントサービスである「mahola wallet」、およびブロックチェーン・バックエンドサービスである「mahola api」をCrypto Garageが提供し、プロジェクトを支援しました。

■実証実験の結果

今回の実証実験では、熱量の高い紫波町ファンを招待し、紫波町現地での体験会を通して、下記2点を検証しました。

1. 会員向け体験リターンの検証

体験会では、2023年8月開催の第2回紫波町ファンミーティングで生まれたアイデアを具現化する形で、製品を開発するイベントや紫波町独自の自然の魅力を発掘するイベント等を開催しました。イベントの事後アンケートでは、参加者全員が「紫波町に関わっていききたい気持ちが高まった」と回答しており、参加者の会員権体験に対する満足度や、まちづくりへの参加意欲の高まりが確認できました。

2. 会員向けトークン付与の検証

今回の実証実験では、会員同士の交流やイベントへの積極的な参加など、共創に寄与する行動に対して、会員権上にトークンを付与 / 蓄積する仕組みとその体験を提供しました。本トークンについて、参加者全員が「まちづくりへの貢献や行動が貯まる機能が特に良かった」と回答しており、トークン発行で共創活動の満足度が高まること確認されました。

■紫波町役場商工観光課 須川氏からのコメント

紫波町はまちづくりに「ファンベース」の考え方を取り入れ、ファンと共に歩む「ファンベースなまちづくり」を進めています。商品やサービスという形の有るものを扱う民間企業とは異なり、自治体は「まちづくり」という形の無いものを扱う難しさがあるため、自治体を「好きだ」と言ってくれるファンの方々の存在を可視化し、コミュニティとして共に育っていく関係性を構築することがとても大切です。このデジタル会員権により、紫波町を取り巻くファンの熱量がより一層高まっていくことを期待しています。

■今後の展開

地域の価値を高めていくためには、地域の魅力を深く理解し、熱量高く活動するファンの存在が重要です。今回の実証実験では、会員権体験によってファンの満足度や活動意欲が高まること検証できたことに加え、「紫波町のお菓子をつくる工房をつくりたい」「紫波町の産品でファンをもてなすバーベキューを開催したい」等、新たな共創プロジェクト案も創出され、改めてファンとの共創の可能性も顕在化しました。今後は、今回の実証実験で得た知見を活かし、「ファン向けデジタル会員権」の機能を改良していくことで、ファンと地域の共創活動の加速ならびに、会員権の有料化による地域価値向上のための新たな財源確保を実現していきます。

またCrypto Garageは、今後もDGグループのアセットやパートナーとの協業を通じて、ブロックチェーン技術や暗号技術を駆使し、最新テクノロジーを活かした高度な金融サービスを開発・提供していくことで、次世代を担う“アーキテクチャ”の創造と実装を行い、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

NEWS RELEASE

【mahola サービスについて】

Crypto Garage は、企業やプロジェクトが、web3 ビジネスを立ち上げる上で直面する様々な障壁を取り除くため、mahola プラットフォームにてブロックチェーン・バックエンドサービスを提供しています。

「mahola wallet」は、NFT プロジェクトや企業の既存サービスに、カスタディ型 NFT Wallet 機能を簡易に組み込むための秘密鍵管理サービスです。プロジェクト管理者用の秘密鍵管理、自社サービスへの wallet 機能の実装などが実現可能です。

「mahola api」は、ブロックチェーン・レイヤーを意識することなく、NFT プロジェクトや web3 サービスの構築・運営が可能となるブロックチェーン・バックエンドサービスです。

簡易な NFT 発行プロジェクトだけでなく、NFT マーケットプレイスの構築やトークンゲートの実装、スマートコントラクトの操作、マーケティングにおけるブロックチェーンデータの活用など、様々なサービス開発を企業が実施する際に、ブロックチェーン開発ナレッジを必要とせずにサービスの構築が可能となります。

mahola api mahola wallet

■会社概要

会社名：株式会社 Crypto Garage

所在地：東京都渋谷区恵比寿南 3-5-7 デジタルゲートビル

設立：2018年9月

代表：代表取締役 CEO 大熊 将人

事業内容：

DG と東京短資株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：後 昌司）が共同で設立したフィンテック分野におけるブロックチェーン金融サービス事業と、ブロックチェーン領域における技術開発サービス事業を展開する企業です。

暗号資産交換業者登録 関東財務局長 第 00029 号

会社名：株式会社ファンベースカンパニー

所在地：東京都渋谷区東 3-25-11 TOKYU REIT 恵比寿ビル 702

設立：2019年5月7日

代表：代表取締役社長/CEO 津田 匡保

資本金：2億9,400万円（資本準備金含む）

事業内容：プロジェクト伴走および分析・企画支援、SaaS 提供

『世の中に「好き!」を増やしていく』をミッションに掲げ、「ファンベース」という概念を正しく誠実に広めるため、2019年5月に発足した野村ホールディングス株式会社、アライドアーキテクツ株式会社、佐藤尚之 3 者の合併会社です。

※ファンベース®/fanbase®は、株式会社ファンベースカンパニーの登録商標または商標です。

■本件に対するお問い合わせ

株式会社 Crypto Garage

Contact: <https://cryptogarage.co.jp/contact/>

株式会社ファンベースカンパニー

mail: info@fanbasecompany.com